

3 学校教育の充実

基本目標1 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子ども達が、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもちとともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」「協働的に」学ぶ取組を進めます。

【令和2年度当初予算の主な事業】

(1) 社会のニーズに応じた教育の推進

○ ICTを活用した教育（小学校ICT活用教育推進事業）

6,744万5千円（昨年度：5,818万円）

（中学校ICT活用教育推進事業）

3,619万7千円（昨年度：3,582万9千円）

子どもたちが学び合い、わかりやすい授業づくりを進めるために、デジタル教科書への対応などICTを活用した教育を実施するための環境整備を進めます。

小学校外国語の教科化などに対応して、小学校中・高学年の全普通教室に電子黒板を設置し、全ての児童にわかりやすい外国語教育を行います。

○ 国際理解教育事業

5,270万1千円（昨年度：5,185万6千円）

各学校へのALT（外国語指導助手）の派遣を行います。

(2) 子ども達の状況に応じた教育や心の教育の推進

○ 安心して学べる集団づくり（中学校教育振興一般事業）10万8千円（昨年度：12万3千円）

身のまわりの問題を自らの手で解決しようとする生徒の自主的・実践的な態度を育むため、市内10校の中学校の生徒会代表生徒が一堂に会する「生徒会サミット」を開催します。

○ 不登校児童生徒への支援（不登校総合対策事業）

1億2,657万3千円（昨年度：1億1,322万7千円）

不登校の要因の一つである「学習不安」に対応するため、こども相談室にタブレット端末を整備し、IT学習支援員が進度に応じた個別の学習支援を行います。

これまで学校で様々な立場から子どもに関わり、学校への適応を支援していた職員を「子どもつながり支援員」として統合し、隙間のない、よりきめ細やかな子どもへの支援を行います。

○ 学校教育振興一般事業

1,955万3千円（昨年度：1,390万9千円）

教育事務支援員、部活動指導員配置の拡充等を行い、学校における働き方改革を推進します。